

# ITS ヨーロッパ2007 会議報告

ITS 統括研究部研究員 名阪 靖

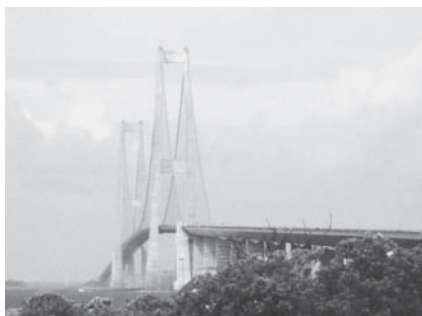
REPORT ③

## 1 はじめに

去る平成19年6月18日～20日にデンマークにて開催された ERTICO (ITS 欧州) 主催の ITS ヨーロッパ2007 会議に参加し、欧州における ITS の最新活動状況について調査してきましたので報告します。



デンマーク王国位置図



フン島とシェラン島を結ぶグレートベルト橋

## 2 ITS ヨーロッパ2007報告

### 2-1 開催期間

平成19年6月18日(月)～6月20日(水)

### 2-2 開催地

Denmark Aalborg (オールボー) コンベンションセンター

今回の ITS ヨーロッパ2007 会議の開催地であるオールボーは、デンマーク北部(ユトランド半島北部)に位置する町で、人口16万人のデンマーク第4番目の都市である。

港町として古くから栄え、最近では情報技術の大学(オールボー大学)や関連企業が集まり、知的産業にシフトしていることから『情報技術の灯台』と言われている。

デンマーク全般に言えるが、街は静かで落ち着いており、交通渋滞は少なく、自転車の利用が多く、自転車道が整備されるとともに、公共交通としてはバス網が発達している。また、環境政策、福祉にも力を入れている。

### 2-3 今年の会議テーマ

今回の会議の中心テーマは‘Time for Intelligent Move’ と題し、会議の焦点及び各セッションの主要なテーマは下記のとおりである。

#### (1) 会議の焦点

- ① ITSを配備するためのビジネス、組織及び社会モデル
- ② 移動に必要な資金調達革新的手法

#### (2) 各セッションの主要なテーマ

- ① CVIS (Cooperative Vehicle-Infrastructure Systems)
- ② PReVENT
- ③ RCI (Road Charging Interoperability) (欧州でのETCの相互運用性)
- ④ Etnite (European Network on ITS Training & Education)
- ⑤ SIMBA (南アフリカ、インド、中国、ブラジルに対するITSの普及)
- ⑥ ITS Nationals Special Session (ITSの効果の広報)

### 2-4 参加状況

公表された会議参加事前登録者数は667名(当日をいれると約1,000名)、そのうちドイツから最多の100名が参加、次いでイギリスの74名、スウェーデンの66名、開催地のデンマークが60名、オランダの44名とヨーロッパ各国からの参加者が90%と大多数を占めていた。アジアからは日本の18名を含めて40名ほどが参加していた。

(アメリカからの参加は2名であった。)



コンベンションセンター（中央は辻常務理事）



セッション会場

## 2-5 主なセッション概要

開催期間の3日間には終日様々なセッションが行われましたが紙面の都合上、その中から今回は2つほど紹介させていただきます。

### (1) SS (Special Sessions)

#### SS01/ CVIS communication and IPv6 deployment for ITS

##### 【概要】

- ① CVISとは、Co-operative Vehicle-Infrastructure Systems の略で、EUの共同研究開発プロジェクトである。
- ② プロジェクトの狙いは、車両が路側インフラと直接通信し、ネットワークすることができるような技術を開発・試験することである。
- ③ ドライバーはCVISにより、目的地までの最短経路案内、速度制限情報、道路標識情報、緊急車両の接近警報等の緊急メッセージ等が車載器に表示され、それらの情

報を得ることができる。

##### 【具体的目標】

- ① 広域通信メディアを使って、連続的かつシームレスに接続できる標準化された車内モジュールおよび路側モジュールをつくること。  
（広域通信メディアにはISOTC204で議論されているCALM国際規格に基づくメディアを対象とし、携帯電話、無線LAN、DSRC、赤外線を含む。）
- ② 衛星航法と最新の位置参照法を利用して、車両の位置決定技術と改良型ローカルダイナミックマップ技術を開発すること。
- ③ 事故発生をすぐにどこでも検知するために、車載装置と路側装置の両方で使用する協調型交通、ネットワークモデリング用新システムを定義し、試験すること。
- ④ 実用化にあたり、例えばユーザー受容性、データの保護と安全性、システムのオープン性とインターオペラビリティ、リスクと

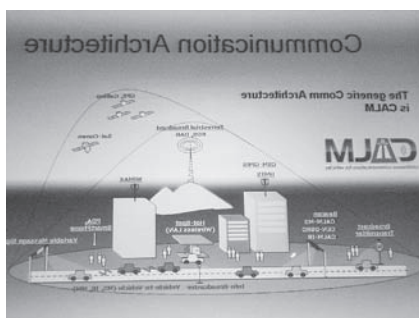
構造物責任、B/Cとビジネスモデル、実装の明確なプラン等についてガイドラインやツールをつくること。

### (2) SS (Special Sessions)

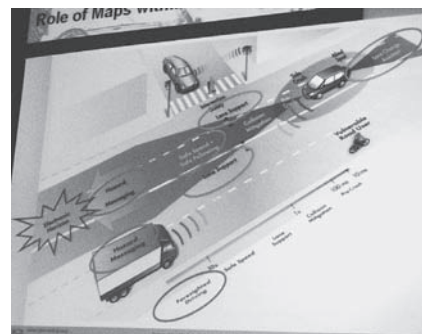
#### SS28/ PReVENT Intergrated Project: test and validation results

【概要】 Integrated Project PReVENTはECと欧州企業のジョイントプロジェクトであり、道路交通の安全性向上を目的とするアプリケーション開発とデモを実施する。

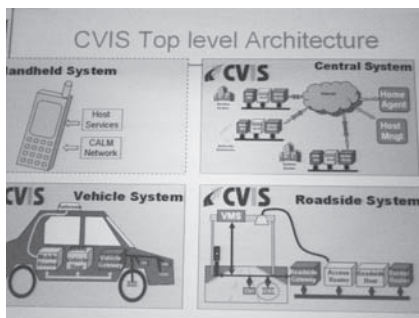
- ① 主に車車間通信を用いて、交差点での交通事故防止に繋げようと言うシステムで、ドライバーの速度運行、車間距離維持、車線走行、追い越し、交差点通過についての安全支援を実施するとともに、万一事故発生の場合においても、その程度を軽減させる。セッションではアプリケーションの全体概要が紹介された。
- ② PReVENT and Active Safety Applicationsでは最新のセン



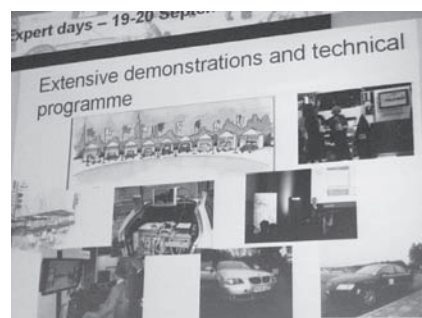
CVIS 概念図



PReVENT 概念図①



CVIS アーキテクチャ



PReVENT 概念図②

サー、地図、コミュニケーションシステム技術を使用して Advance Driver Assistance System (ADAS) が道路の安全性向上に有効であることをデモンストレーションで示した事などが紹介された。

- ③ 今年9月18日～22日にフランスベルサイユ宮殿敷地内にて実施される一般公開デモの紹介があった。

## 2-6 展示ブース

展示者数は76社ほどが出展していたが、日本企業の出展は無かった。

中でもカーナビゲーションを手がけ

ているオランダの TomTom のブースには、欧州で急増しているマイクロな区間旅行速度情報の提供や、曜日毎の混雑傾向を踏まえた旅行時間の提供を実現している200～500ユーロ（34,000円～85,000円）の低廉でコンパクトな PND タイプのカーナビが展示され人気を集めていた。

### 3 おわりに

閉会式では、組織委員会事務局の方々の挨拶に続き、今年の10月に中国北京で行われる ITS 世界会議に向けて中国の王さん、趙さんの二名が参加・挨拶され、プロモーションビデオ

が流されて3日間の幕が閉じた。

全体の所感としては、CVIS や PReVENT に見られる路車協調型システムにより安全性と効率性を向上させ、環境保全にも寄与するヨーロッパの ITS システムへの取り組みを肌で感じる事ができた。また、様々な技術を統合して、無線技術により路車間や車車間の情報通信技術への取り組みは世界共通であるとあらためて感じた。

最後に、今回このような機会を与えて頂いた関係各位へこの場をお借りして御礼申し上げます。



TomTom 展示ブース



TomTom のコンパクト車載器



Q-Free 展示ブース



ASFINAG 展示ブース